

# 日本一の「都市山」と評価

## 神戸 フォーラムに市民ら50人



六甲山大学

六甲山系のイベントなどを一元化して情報

発信する「六甲山大学」の特別講座「六甲山大学ミントフォーラム」がこのほど、神戸・三宮のミント神戸であった「写真。市民ら約50人が参加。「この指とまれ こともちに伝えよう 六甲山の緑を未来に」をテーマに話

し合った。

兵庫県立大学の服部保名誉教授（植物生態学）は「二つの気候帯が重なる六甲山は、多様な種の交流の場」と指摘。「大都市の間近でこれほど豊かな自然が存在する場所はない。六甲山は日本一の『都市山』」と話した。

緑化グループ「ドングリネット神戸」のマスター代表は、阪神・淡路大震災の後、市民からドングリを集め、苗を育てて植樹に取り組んできたことを振り返り、「苗木は成長した。今後は森を育てる活動に重点を置きたい」と話した。

コーディネーターを務めた六甲山大学実行委員長の大武圭介さんは、2年前に開校した

六甲山大学について「まだ第1ステージ。いろんな人が山の魅力を発信してほしい」と話した。